

SOWER

座談会 東欧・旧ソ連はいま



ソア=種まく人
No.3
November 1993
財団法人
日本聖書協会



神のことは
すべて人の
希望

情報満載

電子ブック版聖書

好評
発売中!

聖書 新共同訳*

1987年発刊。格調高い、最新の日本語訳文は、カトリックとプロテstantの英知の結集です。

口語訳聖書

20世紀日本のキリスト教文化を担った定番です。

現代英語訳聖書(TEV)*

(Today's English Version ed.2)
英語を母国語としない人にもやさしい現代英語。

新共同訳コンコルダンス

聖書用語解説

四福音書並行個所テキスト

図版資料

新共同訳通読モード

*—聖書 新共同訳と現代英語訳聖書(TEV)は旧約聖書附屬つきです。

税込価格15,000円 税抜価格14,563円

★この電子ブックの再生には電子ブックプレイヤーが必要です。

財団法人 日本聖書協会

〒104 東京都中央区銀座4-5-1 電話 03-3567-1987(ダイヤルイン) FAX. 03-3567-4436

SOWER
ソア No.3

1993年11月1日発行 [年2回 11月・5月発行]

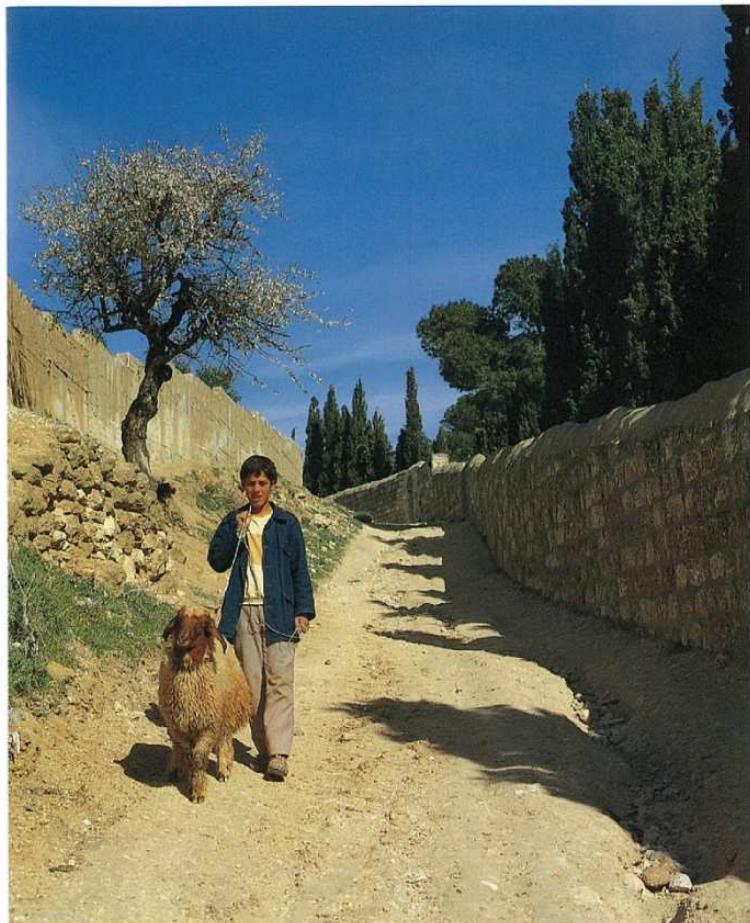
発行・財団法人 日本聖書協会 〒104 東京都中央区銀座4-5-1 電話 03-3567-1980 振替 東京 6-18410



この雑誌は
エコマーク認定の
再生紙を
使用しています

新聖書の世界③

写真／文 横山匡



ベタニアへの道

イエスが愛した村、ベタニアにはマルタとマリアが住んでいました。弟ラザロの甦りの奇跡が行われた所です。この村からベトアゲ村を経てオリーブ山を越えると、エルサレムに最短距離です。イエスはエルサレムに滞在している間も、弟子たちを連れて、しばしばこの道を通り、ベタニアで憩いの時を持たれました。

「一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとにあるベトアゲとベタニアにさしかかったとき…」とマルコによる福音書一章は始まります。まだ誰も乗ったことのない子ろばを連れてくる場面や、実をつけていない、いちじくの木を呪われる場面は、この小道での出来事だったのでしょうか。人通りの少ない静かな細道です。

主の栄光を映し出しながら、
栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。
これは主の靈の働きによることです。

(コリストの信徒への手紙二章18節)

白柳誠一
カトリック東京大司教

イエス・キリストにおける洗礼と信仰によって、神が人の中に住まわると変化の過程がはじまります。これこそ神のいづくしみ。

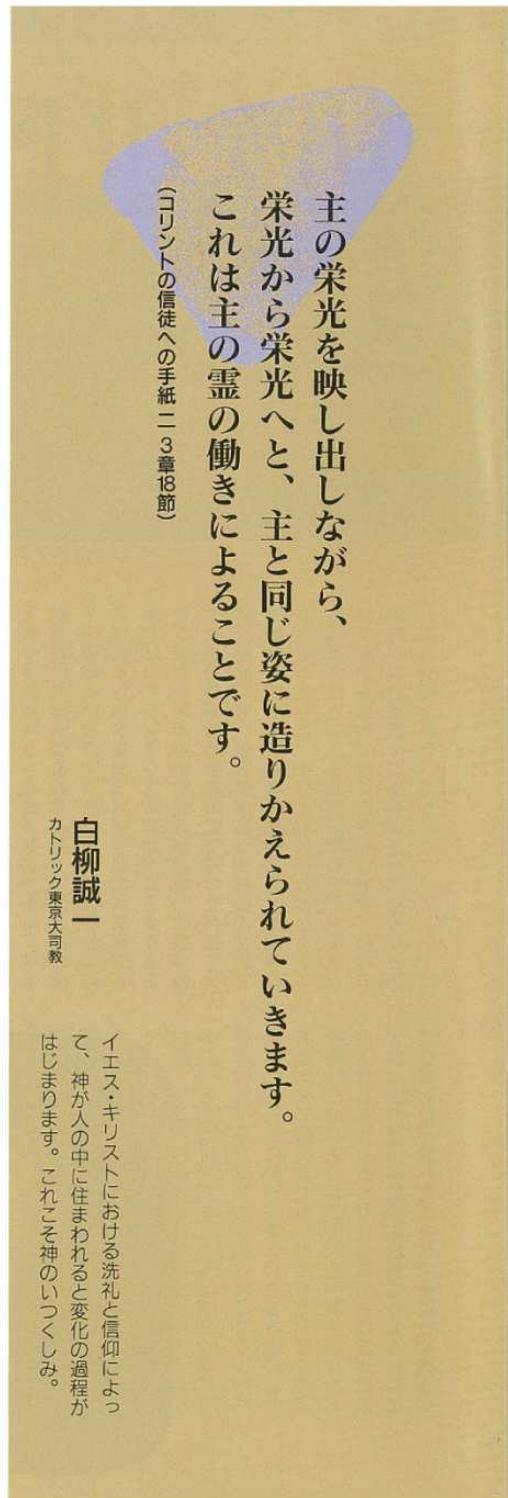


Sower
No.3
1993

CONTENTS

- 座談会
2 東欧・旧ソ連はいま
- 8 エッセー②
速水敏彦「悲しみの中の微笑み」
- 10 INTERVIEW
三浦光世さん+三浦綾子さん
- 12 BSレポート 国内/海外
- 13 総主事室 佐藤邦宏
- 14 PEOPLE
聖書のすばらしさをすべての人へ
旭川バイブルキャンペーン・ボランティア
- 15 読者のひろば
- 歴史接写
16 聖書和訳と聖書事業のはじまり
大藤啓矩
- 17 聖書図書館蔵書シリーズ②
『ヘボン・ブラウン訳』

表紙イラストレーション=本田年一



東欧・旧ソ連はいま

1989年11月、ベルリンの壁の崩壊以来、東西ドイツの統一、東欧の民主化、そしてソ連邦の解体と世界は目まぐるしく変化してきた。今、これらの地域は激しい社会体制の変革に政治も経済も市民生活も混乱と不安定な状況にある。「東欧・旧ソ連へ聖書を贈る運動は、そのような中で世界中のクリスチヤンの祈りとともに進められている。本誌ではこの運動に協力いただいた人々への報告もかねて、東欧・ロシアに詳しい方々に現状を語り合っていただいた。



PHOTO 相沢 明

●出席者(敬称略)

黒田禎一郎『ミッション宣教の声』主幹

佐藤邦宏 日本聖書協会総主事
司会

佐藤 募金をしていて一番受ける質問は「果たしてロシアで聖書は届くのか」というものなんですね。社会的未整備の問題、輸送の問題などに加えて、本当にロシアの人々は聖書が欲しいのかといった声もあります。その辺

信仰の自由と教会の現状

のロシアの人の心、気持の問題はどうなんでしょうか、黒田先生。
黒田 ヨーロッパ、特にロシアの社会構造では、社会のリーダーはわずか5%といわれますね、九五%の人達は右向け右でついて行く

にありながら彼等の顔は輝いているんですね。物質的には貧しい、しかし信仰が、彼等を非常に強く支えている。その源は何かといったら聖書なわけです。その聖書が非常に不足している。

佐藤 ありがとうございます。また伺いたいと思います。中村先生どうぞ。

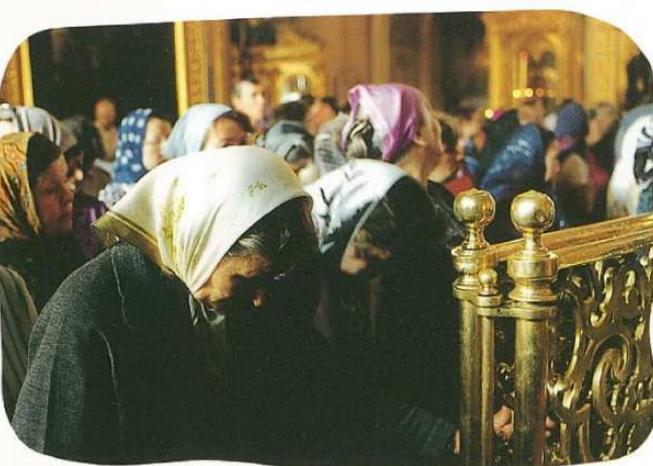
中村 私はロシア語を大学で教えています。専門が中世です。古い時代の文学作品といいますと、どうしても大部分が宗教的なものになります。日本の古事記や平家物語に当たるものがあるわけですが、その中にアバクームという人の伝記があります。十七世紀にロシア流の宗教改革というものがありました。ヨーロッパと違い、国教会の方が教会の新しい方で、古い形の信仰を守ろうとした人たちが教会を離れていく、それを分離派とか旧教徒と呼んでいますが、そのリーダーに当たる人がアバクームという人で、彼の自伝を訳したことでロシアの旧教徒の歴史に関心を持ちました。

味を持つています。ロシア人と聖書ということになりますと、先程お話がありましたように、ソビエト時代に宗教は抑圧されて、聖書が刷られなかつたことが問題です。それがゴルバチョフの時代になって聖書が読めるようになった、といつてもそうたくさん印刷はされない。UBSがやっておられる聖書を贈るという運動は大変意義があると思います。

佐藤 小飯塚さんは一昨年私がボーランドから帰ってきてあちらの事情を報告をしたときにお会いしたのが最初で、その後、朝日新聞に二回ほどボーランドのことも含めて書いたいただきました。

小飯塚 「心のページ」というところに九年に配属になって、たまたま去年の夏に二週間ロシアに行く機会がありました。ロシアの教会を取りました。ロシアの最高会議の議員のボロジンさん、ロシア正教の司祭ですが、

九〇年の選舉で出てきて、例のクーデターのときは、エリツィンと共に最高会議のビルに籠城した人です。この人にインタビューすることができました。



ボゴヤブレンスキイ教会での礼拝／写真提供 小飯塚一也

佐藤 私ども聖書協会世界連盟(UBS)は

一九九〇年以来四年計画で東欧・旧ソ連に三千万冊の聖書を贈る運動を展開しています。

日本も九千万円を目標に募金を行いました。今日は、ロシア・東欧全体を視野に入れたいと思いますけれど、特にロシアに絞ってお話を進めていただきたいと思います。社会、暮らしはどう変わったのか、文化、世界の流れの中で民衆、ロシアがどう変わっていくのかといったことも含めて進めていきたいと思います。最初にロシアとの関わりということをお話しいただきたいと思います。黒田先生からどうぞ。

黒田 今から二十三年前ドイツの大学に留学中、不思議なことがあったのです。首都のボンにはロシアから出てきたドイツ系のロシア人のクリスチヤンが集まる教会があつて、私が訪ねたのが一九七四年の秋だったと思います。日曜日の午後でした。四百人入る会堂に八百人くらいが集まっています。一杯でした。アコーディオンとバイオリンとギターとマンドリンの伴奏で讃美歌が始まつて歌い出しますと皆が泣き始めるんです。礼拝は、大体三時間くらい続いて、三人の牧師が交代でメッセージをし、最後に私がいきなり講壇に立たされました。十分くらい、日本からきてこうこうだと話しました。すると、ある人はハンカチを出して泣き出します。私はその時、クリスチヤンの質がだいぶ違うなと思いました。

佐藤 募金をしていて一番受ける質問は「果たしてロシアで聖書は届くのか」というものなんですね。社会的未整備の問題、輸送の問題などに加えて、本当にロシアの人々は聖書が欲しいのかといった声もあります。その辺

のロシアの人の心、気持の問題はどうなんでしょうか、黒田先生。
黒田 ヨーロッパ、特にロシアの社会構造では、社会のリーダーはわずか5%といわれますね、九五%の人達は右向け右でついて行く

人たちであると。ですから、そのリーダーの影響力というのは非常に大きくて、それが今回の一七四年もの社会主义イデオロギー体制を持ち続けた一つのファクターだと思うんです。今、ロシアの人々の心の渴きはものすごく大きなものです。私も毎年のように行っておりますが、今までは会堂の中にも必ずKG Bの目が光っていたわけですから、話す時にものすごく神経を使つたんです。けれども、今は公園で野外図書館を開く事も許されるし、聖書、信仰書、あるいは文学書を借りていく自由も認められるようになっています。

イデオロギーでは満たされないものがあつた、

しかしそれを求めていたけれど言うことが許されなかつた。今言える時代になつて彼等は一生懸命それを求めてゐる。私はこれが表面に出でてゐる現象ではないかと思います。

佐藤 ロシシア人の意識というのか、さつき中村先生が旧教徒の話をちよつとなさつたんでですが、ああいう宗教改革をするごく五%の人たちはついてくる。日本だったらほんどの人は冷ややかに見てゐる感じがしますね。宗教大リーダーに生活をかけてついて行く、外国人にまで移住していくという、そういうひたむきな意識というか、民衆の気持ちというものはあるんですね。

えざるをえないような状況が出てきたんで
すね、ペレストロイカで。
小飯塚 僕がお会いしたボローシンさんは、
今おっしゃられた新しいロシアの宗教法の起
草者です。まだソ連があつた時期でして、九
〇年十月一日にソ連邦の「良心の自由および
宗教組織に関する法律」という新法が出来た。
これは今はいいんですが、この人が作ったの
はロシア共和国の法で、「信仰告白の自由に関する
法律」といい、同じ月の二十五日に出来
ました。登録制というのがますなくなりまし
た。国による管理が解かれた。宗教委員会の
メンバー、KGB系の人が握っていた教会の
財政が教会に戻されたのです。共産党時代の



モスクワ郊外野外集会で聖書を求める人々／写真提供 黒田楨一郎

ロシア正教というのが今後どうなるかという

中村 あれは難しいですね。一九一七年まで
は、ロシア正教会は国教で、つまり国家の指

専理念だつたわけです。政治と宗教は一致しているべきだという考え方がロシア正教会ではむしろ強いんじゃないでしょうか。この辺が私たちの感覚と少し違う所なんですね。ボローシンさんはこの辺のところを敏感に察知しないで、今自分は、直接正教会だけの利益を代表していないようにしているということですね。(ま)あ、これからはそっちの方向に進むんじゃないでしようかね。

佐藤 ロシア聖書協会というのが正式に一九九一年十月十八日に発足したのですが、ロシ

黒田 は、さきぎり言って、複雑ですね。とくにま
すのは、やっぱり七十四年間のあの社会体制
の中で、ロシア正教の司祭とKGBとのつな
がりがものすごく深いことがはつきりしてき
たわけでしょう。あの大きなモスクワ市内で
もプロテстантの公認教会は一か所だけだ
ったんです。ですからメノナイトもブラザレ
ンもルーテルの方々も皆そこに集まるほかな
かった。だから一日四回礼拝したのです。四
回礼拝しても満席です。表に出た公認教会に
来られた方々は氷山の一角で、ほとんどの方
は当時地下に潜っていたわけですね。公認教
会の指導者の人たち、司祭たちの九割以上は
KGBとのつながりがあったと私は思ってい
ます。

ア正教会のアレキサンダー・オレンジなども、方が理事長、バプテストのビコースさんという方が副理事長になりました。

中村 そうすると、諸宗派が一緒に入っているのが聖書協会ですね。

佐藤 聖書協会は原則的には超教派の団体ということですから。

中村 それは大変いんじゃないでしょうか。ロシアの場合、クリスチヤンといつてもロシ

ア正教会だけじゃないですかね。

佐藤 その辺はどうなんでしょうかね。ロシ

ア国内での教会間の関係は、今後いい方へ発展するんでしょうね。

布教活動をしてもよろしい、軍隊の中で礼拝してもいいとか、法律が変わったというか、

A color photograph of a man with dark hair and a beard, wearing a blue plaid shirt, standing in a printing workshop. He is positioned behind a large industrial printing press on the left. The room is filled with stacks of white paper, some on wooden pallets and others on the floor. In the background, there are more printing equipment, including a large grey machine and a red cart. The ceiling has several light fixtures. A large, abstract painting hangs on the wall to the left.

ルーマニア印刷所内の風景／写真提供 黒田慎一郎

イツとの戦いの中で、ロシア正教会が果たした役割というものがあり、それで戦後ソ連政府とロシア正教会の間に、一種の秘密の関係ができたと聞いていますが、そうですか。

中村 そもそもロシア復興の事情で日本の中
合ですと、仏教のお坊さんが国会議員になる
とか、僧侶として活動するということはほと
んど考えられないわけですけれど。

死んだという数字があります。独ソ戦が始ま

りまして、これはソ連の国運をかけた戦争なんですねけれども、スターインが四二年でしたか、ロシア正教会の代表をクレムリンに呼びまして、一種の和解がそこで行われたんです。ハルヒアヨンは依然として強く、我慢のく

小飯塚 KGBとのつながりは内部で深刻な議題になつてゐるようです。宗教委員会などを通じて人事を管理し、内部の情報もつと抜 GBと上層部の癒着が今すいぶん問題になつてゐるようですね。

ルーマニアの聖書印刷工場

佐藤 さて、UBBSの報告によりますと、一九九二年の十月まで、約五年にわたりまして三千三百九十万ドル募金し、そのうち製品として持ち込んだのが約三千万ドル、約四百万ドル分の用紙を供給したということになつてあります。これはロシアのみならずほかのところへも供給されているわけですねけれども、今はだんだん現地印刷の割合も増えました。九年の十一月から九二年の十月までは、現地印刷の比率が増えていると思うわけです。例えばルーマニアには聖書印刷工場を作るとう働きがありまして、九〇年の報告では、操業開始をするという報告がなされています。その辺の事は黒田先生がお詳しいので、ちょっと教えてくださいますか。

始めたんです。そのとき募金に応じた人がサインをしたカードがこの本に全部はつてある

つてこの新約聖書を求めたそうです。これなど、今の東欧のよう日本が世界から支えられ励まされてきた一例ではないでしょうか。

ミッショナリーエンデュの
生活十一年、当初、
ドルフで在欧邦人伝
一九七六年からソ
ア産諸國の宣教に
り組む。

小坂塙一也 堀日新聞東京本社
学芸部「この」の権担当。昨年
ロシアを訪問、「信教の自由法」
の起草者ボローニン氏にインタ
ビュー。ロシアの宗教界の現状
をレポートする。



PHOTO 相沢 明

中村 不足してゐるんですね。革命の直後に教会と修道院が全部国有化され取り上げられました。最近になってどじどじ返されたのですね。

黒田 私は今、ロシアと東欧が新しいステップに入つてきていると思います。地下にほとんど潜っていたバプテスト、ナザレン、メノナイト、ルーテル、改革派のこれらの人々は、かつては牧師であつても神学教育を受けた

佐藤 そうですね。宗教心というのは、抑圧されるとかえって熱くなつてきますからね。小飯塚 社会主義がそこと戦つたけれど負けたということになるのですか。

中村 そういうことになりますね。

佐藤 興味ある話題で話が尽きませんが、時間がになりましたので、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

小籠塙 中心的神学校がサンクトペテルブルクで開かれていた。そこでモスクワにあるけれど、両方の卒業生が二百人とか三百人とかの単位なんだそうです。去年の夏、ロシア正教会総主教府で聞いたところでは、旧ソ連邦の地域で、ベレストロイカ以前は六十だった教会が一万二千になつたということです。復興する度に聖職者の養成が間に合わないので。

かものすごく出てきたんですね。それで二年くらい前からですね、アメリカ、ヨーロッパのドイツ、イギリス、フランス、オランダの宣教団体が大量のお金を投資して、神学校をあちらこちらに作り始めたんですね。東欧だってそうですよ。

新しいステップに入ったロシア・東欧

小飯塚 もう一つ、長い間、公式的には無神論イデオロギーの社会だったので、学者とい

うか、聖書を勉強している人たちが非常に少ないと聞きました。

ども、印刷機に入る前の段階から、彼等が廢棄していったことは、ブカレストで印刷することです。地理的にブカレストはいいところにある。ですからルーマニア語、ハンガリー語、モルドバ語、ウクライナ語、そしてロシア語の、多言語の印刷がブカレストでできるならば非常に有利です。おまけにドナウ川もありますから、輸送についても大変に便利だからここで聖書を印刷したいというのが、現地のクリスチヤンたちの大きな願いだったのです。そのときドイツ、スイス、イギリス、オランダのプロテstantの教会が協力して献金を上げ、印刷機と紙とインクを贈りました。さらに技術者を外国に送り、特にドイツで、印刷技術を修得させることをしました。その印刷が始まったのは約二年前ですね。去

佐藤　ここに大きな本がありますが、「グッド・ウイル・ブック」といいます。戦後の一九四五五年ですか、一年間に日本で頒布された聖書は二十三冊なんです。それでアメリカの教会の代表が日本に来て、聖書を贈ろうという話になりました、最初は十万とか二十万とかそういう話だったんだそうですが、賀川豊彦先生が立ち上がって、今の日本はそんなじや駄目だ、百万、二百万必要だ、と言いましたらアメリカ聖書協会は非常にびっくりしましたね、また非常に喜びましてね、全米で募金をす
神を否定して、クリスチヤンを迫害し無神論主義に立つて、いたチャウセスク大統領が倒れて、一等地に今、聖書印刷所があるんです。これは皮肉といいましょうか、不思議ですよ。

けだつた。
中村 そう、宗教委員会というのがすべてを握っていた。教会独自の動きはできなかつた。その一つとして総主教の選出というのがあります。これは法王の選出と匹敵しますが、ローマの場合ですと全世界から枢機卿が集まつて、選挙して決める。九〇〇年以前の総主教は指名制です。政府というか党の宗教委員会の指名だったのです。今のアレクシイ二世といふ人が、革命後初めて総主教として選挙で選ばれたのです。

年の十二月に行つたときにもう数言語の聖書が刷られていました。西側の多くの宣教団体が望んでいることは、現地の教会、現地の聖書協会が印刷を通して、彼等が自立することです。ルーマニアのブカレストにこれができたというのは地理的にものすごくプラスですから、今後ますますあの地域にいい働きをしてくれるんじゃないかな、と私は期待しますね。中村バルカン全体をカバーできるというこですね。

悲しみの中の微笑み——人間の魅力

六十数年的人生において、心に刻みつけられたいくつかの「微笑み」がある。

小学校低学年の頃、私は「ブタヒコ」というあだ名を付けられた。確かに小太りであつたので文句のつけようもなかつたが、悪童たちの「ブタヒコ」呼ばわりは私の幼心を傷つけた。だがそんな時、同級生の小野京子ちゃんがいつも、「あなたはブタヒコなんかじゃないわ。トシヒコちゃんよ」とニコニコ顔で言つてくれた。彼女の笑顔は今でもまぶたに浮ぶ。旧制中学五年生の晚秋、私は江田島の海軍兵学校に入校するため住み慣れた台湾から離ることになった。歓呼の声をあげて見送つてくれる人々の中に、私が家庭教師をしていた小学校六年生の大鹿泰子という女の子がいた。彼女は、「お兄さん、とうとう行くのね」と淋しそうな顔をしたが、すぐに、「でも来年の夏休みには帰つてくるのよね」と明るく笑つてくれた。彼女のその笑顔は厳しい兵学校生活における私の支えであった。敗戦後、私は九州の片田舎の炭鉱で働いた。毎日、明け方まだ暗いうちに鉱山に登ると、「おはようございます。今日一日ご無事でね」と事務所の受付の少女がにっこり笑つて出勤カードに判子を押してくれる。当時何も信じられずニヒルな生活をしていた私が自裁せずに何とか生き続けていたのは、その一瞬の彼女の笑顔を見るためであった。米国留学から帰国して最初の勤務が四日市での開拓伝道であった。赴任した翌年、伊勢湾台風に見舞われ、海岸近くにあった私の下宿はもろに被害を蒙つた。台風の翌日は日曜日であったが、惨憺たる家の中で、茫然自失となっていた時、「先生、生きているか!!」と十数名の青年が駆けつけて来た。彼らは集会に来てまだ間のない町工場の工員さんや方

吉焼の職人たちであった。簡単な礼拝を捧げた後、「じゃあ、君たちも家に帰つて片付けなければ」と言うと、「いや、桑名の教会が心配だから、これからすぐに行つてみましよう」と異口同音に笑顔で答えた。それから半日がかりで桑名に辿り着き、救援活動が始まったのであるが、彼らのさわやかな笑顔はその後の私の働きの原点になっている。この他にも忘れられない「微笑み」はいくつかあるが、私の心に刻みつけられている「微笑み」は、悲しい時や苦しい時に私を生かしてくれた力であった。

聖書に「柔軟（ヘブライ語のアーナーウ、ギリシア語のプラーウス）」という言葉が出てくる。これは、モーセの人柄やイエスの本質を言い表す語としても用いられており（民数記一二・三、マタイ一一・二九、二コリント一〇・一）、神の前で自分がいかに空しい者・無力な者であるかを認識してへりくだる敬虔な姿を表す語である。特に、他人から圧迫されたり迫害されたりして、どんなに悲惨な状況に陥つても、じつとその苦しみに堪え、その慘めさを他人のせいや社会のせいにして愚痴をこぼすことなく、また、他の人に對して傲慢な思いを抱かず、ひたすら神の御旨に従つて生きようとする、そういう忍耐の人、謙遜な人、神のみ寄り頼む人の性格を表す語である。聖書的な意味での「柔軟」とは、「悲しみの中の微笑み」である。

十二年間も出血の止まらない女がイエスの服に触れた時、孤独な徵税人の頭ザアカイがイエスを家に迎え入れた時、姦通の現場で捕らえられた女がイエスから「わたしもあなたを罪に定めない」と言われた時、そして、ユダヤ人を恐れて家に閉じこもつていた弟子たちが復活のイエスを見た時、彼らの心を引きつけたのはイエスの微笑みであったにちがいない。ちょうど、暗い胎内から戦苦しながらこの世に出て来た赤ん坊が最初に出会つた母親の微笑みのように、それは彼らの新しい生の力となつたであろう。

だが、新約聖書が語るイエスの魅力には、このような人間の魅力だけでは言い尽くせぬものがある。イエスの微笑みの中にある真実とは何であろうか。私の大きな関心事である。



速水敏彦 1927年台北市(台湾)に生まれる
51年同志社大学神学部卒業
57~59年ユニオン神学校
サウス・ウエスト聖公会神学院に留学
現在日本聖公会司祭、立教女子学院短期大学学長。

INTERVIEW

——ある方からいただきましたお手紙の中に、「私は三浦綾子さんの本を読んで、聖書を読みたい、神様の言葉をもつと知りたいと思いました。今日はあらためてお聞かせいただきたいのですが、何かの折りに、大変な誤解だと思います」とありました。私は、これは名言だ! と感動しました。今日は三浦綾子さんとは神様とわたしたちの間で、路傍伝道のようなものだな、と思いまして。三浦綾子さんは神様とわたしたちの間で、おしゃってますね。

光世ええ。家内がね。そんなふうに書いたことがありますね。

綾子私にとって、書くということはキリストを伝えることだから。このことは、とっても大事にしてます。ちよっと、話が飛びますが、昭和十三年頃にある学生が、白いガードに包んだ物を恥ずかしそうに見せてくれたんです。それが聖書でした。私は、非常に胸騒ぎされましたね。

光世その頃、綾子は求道中?

綾子入院中。とにかくね、信者であるとか、求めているとかは別でなく、手垢ひとつつけたくないものの人生を持ってるということは、変大切なことだということを、それを学生はそういう形で印象づけてくれたんですね。四国のある大学教授の方が、私のサイン本を貰めておかれ、金庫を貰ったといいます。聖書を私たちがそのままの形で

たちの通訳



三浦光世さんは、1924年東京生まれ。歌人。

三浦綾子さんは、1922年相川市生まれ。キリストの愛とゆるしを伝え続けて、著作は70冊になる。

扱っているかといったら……。私の本を受け取つて「宝物にします」というお手紙は、よくいたくだのですが、そんな謙虚な態度で人の物を扱うことがちがうるなんど、すごいなど思つて本当に心を打たれました。わたしたちが、神の前でどうあるべきかを教えていただきました。聖書とうちのほかの本とは絶対に違うもののです。ほかの本は、何万冊読んでも教わにならない。

聖書についてのことを知っていたのです。後に、母は信者になりました。「『流地帶』の家族は、祖父一家をアソシしています。実は、私が、醫薬結核で苦し紛れに手を延ばしたのが母の聖書でした。

る人に見せたひきと驚くでしょ
けど、本当の豊かさとは何か、び
つと迫ってくるんじやないかしり。
一先程のガーセにくるんだ聖書の話
といい、今の貧しい農家の話とい
い、共通するものがありますね。と
ころで、お二人でどんな風にして聖
書をお読みになるんですか。

神さまとわたし 三浦光世さん 綾子さん

三浦光世さん 綾子さん

ような会話になりました。この作品の一番重要な点です。

—持つでまいります。（注 クーテ
ンベルク印刷機のこと）

「流地帶」を読み直して見ました。実

りも、もっと先に、みことばを求める濶ける心が大事でしょうね。

ハ一人迷子でし。何を理解してい
るか、どのような姿勢で受けている
かということが大事であって、何回

綾子 聖書をわかるとか、わからないとか言いますけど、その人の持つている世界の深さとか、高さは、一

光世 は、そうです。それから、
お手ついて仕事にいらっしゃります。

—光世先生が声を出してお読みにな
—ですけ。」

つと多く読んでると思います。この頃は、病気やなんかで読むのをちょ

光世 前に 陰分読んだともいは由緒
三章、新約一章を毎朝、仕事をする
前に読んだんですね。

ところで、お二人でどんな風にして聖書をお読みになるんですか。

——先程のガーゼにくるんだ聖書の話といい、今の貧しい農家の話といふ、共通するものばかりますね。

る人に見せたらきっと驚くでしょう
けど、本当の豊かさとは何か、ぴし

綾子 それが編集者の立派なんです。
光世 日本の神、八四〇の神と本当に
の神を照らしあわせなかり、最後は
インカーネーション(incarnation)、
受肉というところまで組み入れて、
くことができたんですね。綾子はそ
れをつまむたらマッチックに持ってい
ったような気がしますね。

神でないと宣言した、人間が神でないといじょう」とない、イエス・キリストも神ではないんだろ」と言ひこんでですね。そこで、信者である妻が答える。「それを信じるのはわたしもむかしかったけど、初めに言葉ありの言が地に降ったの。それが受肉、英語でインカーネーションというんですって」「ハーン、そうか」という

嬉しいですね。
一今秋、十月二十七日から始まる旭川の聖書展では、先生の二作品を、「旭川と聖書」のコーナーでぜひ展示させていただきたいと存じていてます。それに「海嶺」を五回上映することになります。それにもう一つ、あの印刷機も持つてひつしゃるの。

お詫びにならぬに……(笑)
光世 たつた一言なんですがね、その受肉といふことを、繪子はどうやつて組み入れるかむずかしいといつてしたが、昭和天皇の人間宣言と対比させて、自然に書き入れたと思います。小説の主人公はまだ受洗前の

ます」つい、帝から新約聖書をお出しになりました。私が行ったからもうおおしゃったのかどうかわからまんが、帯のお太鼓から出されてね。嬉しいかったです。

光世 ロンドンからカナダに飛んだ

光世 そうですね。「夢幾夜」を入れたら六十八で、「銃口」が入ると六十代になります。それにエッセイ集が入ってきて一円には七十にならぬかもしれません。

の一番重要な点です。聖書解説の「新約入門」なんかでは、書いているかも知れませんが、小説の中で、綾子がこの愛肉を書いたのは初めてです。秋には出版されます。

綾子 そうそう、「千利休」と妻たおと「書くとき」には、千宗室氏の所をお訪ねしたんです。そしたらね、

光世 綾子 大変ですね。

——旭川女子商業高校の「三浦綾子文庫」のところで、作品数は六十七と

書いたままになります。(注 クーテンベルク印刷機のこと)

聖書解説の「新約入門」なんかでは、書いているかも知れませんが、小説の中で、綾子がこの愛肉を書いたのは初めてです。秋には出版されます。

綾子 そうそう、「千利休」と妻たおと「書くとき」には、千宗室氏の所をお訪ねしたんです。そしたらね、

光世 盛岡でわたらしたお見せていた一書展のための準備は、3年かかりました。

——書展のための準備は、3年かかりました。

一九六三年初版「JESUS」(新約聖書)、一九六四年再版「THE BIBLE」(新約聖書第四版)、一九六六年再版「ギリシア語新約聖書」が発刊されました。続いて一九八三年一月、大人気の「JESUS」の日本語版、「アーランド版」、「ギリシア語新約聖書第十七版」が発刊されました。前者は一九六六年に初版がぞれとして一九八三年に「第三版修正版」が発刊され、「聖書新共同訳」が発刊され、「新約聖書翻訳の底本となりました。



電子ブック版型書

一九六三年初版「JESUS」(新約聖書)
会世界連盟版、ギリシア語新約聖書第四版が発刊されました。
統じて一九六三年一月、スイス・レ・アーラン版「ギリシア語新約聖書第十七版」が発刊されました。
前者は一九六六年に初版が、そして一九八三年に「第三版修正版」が発刊され、「聖書新共同訳」新約聖書翻訳の底本となりました。
した。
後者は、一九七九年に第一六版

總主事室

ギリシア語新約聖書 改訂版の発刊

佐藤邦宏

ホント版も、本文は同じで、いすれも前版から変更はありません。日本版は、翻訳のために、後者は研究のために、注「アラム語など」が充実したものになりました。

聖書には、「原本は存在しません」とあります。それで、新約聖書の場合、ネストル版第十六版がなければ、それまでの四世紀の写本に加えて、特に、二世紀のパピルスなどを中心にしながら、新約聖書原本の復

元に勢いがでてしまひます。
研究が進み、版が重なる度に、
それから正確に翻訳される新約聖書
書は、より原本に近づいていくべく、
とになります。

カテドラル聖マリア大聖堂で、東京スコラ・カントールムによる第二回目のチャリティ・コンサートが催され、満員の聴衆と共に、バッハの音楽を楽しむことができました。募金目標九、〇〇〇万円はほぼ達成、予約献金が完了する今

会」も好評でした。今年最後の旭川バイブル・キヤンペーンは、聖書のすばらしさをすべての人に「をテーマに旭川西武ホールには、聖書翻訳の歴史や、宣教百年を迎えた旭川と聖書の貴重な展示物に多数の入場者が訪れました。同時開催として、二九日には旭川在住の作家三浦綾子氏の原作、映画「海賊」を市内の映画館で五回上映、現存する最古の日本語聖書「約翰福音之傳」(ギュツラフ訳)にかかわった三人の漂流民(岩吉、久吉、音吉)の奇しき物語は、あらためて感動を呼び、この聖書展の意義を深め

●旭川バイブル・キャンペーん

●旭川バイブル・キャンペーん
一九九三年度は、新潟（八月一
八日〔二二日〕、旭川（十月二七
日）三二〇〇冊を販売。

る良い機会となりました。

聖書の神戸聖書房開創記

去る七月一日から六日間、神戸キリスト教書店二十周年記念感謝行事の一環として、「聖書と神

戸」聖書展が催されました。これは「聖書新共同訳」とその仲間たちの委員会の協賛事業として実施され、西日本の聖書事業の発祥の地である神戸と聖書のかわりを中心として佐藤總主事による「バイブル・ロード」聖書の通ってきた道」が県民会館大ホールで開かれました。

年のクリスマスには、詳細が判明いたします。

●第四回秋の聖書セミナー

川島貞雄氏の「マタイによる福音書を読む」をテーマに、九月一日から十二月三日まで毎週金曜日に聖書協会会議室で開催中。

●大好評 電子ブック版聖書

かねて、ご案内しておりました「聖書 新共同訳」の電子ブック版税込価格「五〇〇円」が八月五日に発売されました。ニューメディアの代表ともいべきこの聖書は、活字メディアではない特徴を持ち、特に、検索に関しては抜群の機能を發揮し、聖書の深い学びの一助として用いられております。(裏表紙広告参照)

Bible Society Report レポート

中国の聖書印刷工場である愛徳基金会が印刷廠では、一九九三年に一五〇万冊、九四年には、一八〇万冊の聖書頒布を目指して作業が進んでいます。これらの聖書は、整備中の頒布機構を通して、中国に届けられています。

太平洋地区では、二三三言語の翻訳が統けられていて、二四名の翻訳コンサルタントが、コーディネーターとして作業に当たっています。コンサルタントは、年二回の学会、研修会に集まり、翻訳のレベル向上、情報交換に努めています。

●カンボジア、聖書事業開始

●カンボジア、聖書事業開始
一九七五年、クメール・ルージュにより活動が停止させられてい
された東欧・旧ソ連へ、三〇〇〇万冊の聖書を贈る運動も、大詰めを迎えた。アメリカ聖書協会が

ご案内

読者のひろばは、読者の皆様のお便りを紹介するページです。

聖書に関するさまざまな事、例えば、愛誦聖句、聖書との出会いなど、お寄せください。採用分には、記念品を送らせていただきます。

読者のひろば

読者のひろばは、読者の皆様のお便りを紹介するページです。
聖書に関するさまざまな事、例えば、愛誦聖句、聖書との出会いなど、お寄せください。採用分には、記念品を送らせていただきます。
（日本キリスト教団代官山教会員）



この三月中旬に、約一週間にわたって、K牧師の指導を得て十六人の兄弟姉妹らと使徒パウロの足跡を辿る旅をしました。イスタンブルを経て、空路、パウロが三度の宣教旅行の出発点としたアンティオキア（アンタキヤ）に入り、古い街並み、シナゴーグなどを見て、パウロとバルナバの宣教の苦労などに思いをはせることができました。この日は、ここに一泊、翌日からパウロは徒步でしたが、私達はバスで、延々約二千余キロの旅に出発しました。

辻部 寿

使徒パウロの足跡を辿つて

パウロの生地タルソスから、イコニオ（コンヤ）、ビシディアのアンティオキア、コロサイ、エフェソなどを訪ね、クサダスより船でサモス島へ、そして、アテネ、コリント、テサロニケ、フィリピなどを訪れました。残念なことに、これらの遺跡に立つて、パウロを偲ぶことができたところは、ビシディアのアンティオキア、コリント、フィリピぐらいでした。ほとんどが数度にわたる戦争あるいは大地震などで破壊されたり、埋没されてしまっていたことです。支配者たちがその傲慢さ、横暴さによってその時代偉大な文化遺産を造ったのはよいが、ほかの権力者たちが宗教などの違いや権力の争いのためにそれらを破壊してしまっていることには、私は大きな憤りを感じさせられました。

でも、コリントの遺跡でのパウロが演説をしたといわれる演説台や、フィリピでのリディアの婦人たちにバブテスマを受けたといわれている清流に接したときは、聖なるパウロの姿をほうふつさせられ、感無量でした。

愛は忍耐強し、愛は情け深し、
愛は自慢せず、高ぶらず、それを失せず、自分の利益を求めず、

いたたず、恨みを抱かない。

不義を喜ばず、真実を喜ぶ、

すべてを忍び、すべてを信じ、

すべてを望み、すべてに耐える。

（日本キリスト教団南関教会員）

すと、すぐに聖書を約一時間読みます。職業は、小・中学校の教師を三十五年間勤め、退職後は書道教授をし現在に至っております。最近の書道の作品を感謝のしるしとしてお送りいたします。

（日本キリスト教団南関教会員）

このたび第四回目の聖書通読を終了して思うことは、ただただ「感謝」の気持ちでいっぱいです。青年時代には一二、三の病気をして手術を受けたこともありましたが、今八十歳になって病氣一つすることなく、目も眼鏡をかけずに聖書を読むことができ、毎朝五時ごろ起床し、感謝の祈りを済ませています。

中島直道

聖書通読の感想

PEOPLE

聖書のすばらしさをすべての人へ

旭川バイブルキャンペーン・ボランティア



今から、2年前の1991年4月市内牧師会で、「旭川聖書展」の開催について検討されました。その後、様々な努力の積み重ねにより、現在、市内の大半（カトリック5、プロテスタント21）の教会が1つの目当てに向かいつつ、協力、一致を経験中といったところです。

旭川聖書展の第1の柱は、「聖書を市民へ」であり、神のことばの存在をより多くの方々にお知らせするため、「聖書のすばらしさをすべての人へ」を標語にしました。

第2は、旭川に1893（明治26）年に伝道が開始されてから、丁度、今年で100年目を迎えます。これまでの神の導きを感謝しつつ、宣教2世紀に向かって、新しい思いと力を与えられることを願っています。そして第3には、初期の頃より歴史的に協力一致してきた宣教の業への奉仕を継承し、今後も、すべての教会が応分を担うことがあげられます。特に、これを機会に協力できることになったカトリック、プロテスタント教会は、聖書にあって一つの認識のもと、今後様々な形での全教会一致の「市内キリスト教」としてアピールが生まれてくるに違いありません。聖書展を目前に控え、旭川36万市民へのキャンペーン開催を2,500名のクリスチャンは、少し緊張しつつ心待ちにしているところです。

北村一幸
旭川聖書展実行委員会総務委員長
日本基督教會 旭川教会牧師

時を超えて

松隈貞雄

私の属する日本福音ルーテル教会の宣教師の家族と交わりを持つたようですが、母が遺したアルバムには教会や宣教師の家族の写真があります。母は昭和二十五年八月一日に、結核と闘病中の十三歳の私をはじめ五人の男の子を残し、急死しました。床につくのは出産のときくらいの当時、佐賀は開明的な県でした。私の母は、昭和の初期に、佐賀県女子師範学校の生徒として、花房小路にあつた教会に英語を習いに行き、聖書を学び受けませんでしたが、家には幼いサムエルの絵や聖書がありました。わたしたちが教会に行くようになったのは、母の死後十一年たった昭和三十六年からで、わたしたちは熊本、名古屋、東京のルーテル教会で洗礼を受け、洗礼を受けていない末の弟も鹿児島のルーテル教会の学生寮で学生時代を過しました。今年の春に、博多ルーテル教会に行っている弟から、母の写った写真とその周りにいる牧師、宣教師、その他の人々の名前を書いた手紙が送られてきました。母の写真には「一九二九年四月、佐賀市花房小路教会」と書いてあったらしいのですが、当時を知っていた会員の方が、花房小路教会、すなわち佐賀のルーテル教会の交わりを六十四年ぶりに明らかにしてくださいました。このように、神様は時を超えて導いてくださるのであります。

（日本福音ルーテル三原教会牧師）



聖書図書館蔵書シリーズ—② ヘボン・ブラウン訳

馬太傳、馬可傳、約翰傳福音書

横浜 1872-73年刊

縦: 23.5cm 横: 16cm



1859年に来日したヘボンは日本に正しいキリスト教の伝道をするためには、水準の高い聖書の翻訳が必要であると確信し、早くから辞典の編集などをして聖書和訳の準備を進めていた。そしてシンガポールで出会った S.R.ブラウンと協力して、将来標準訳の基礎となる翻訳をはじめた。

奥野昌綱が訳文を推敲し、版下も執筆した。版本は稻葉治兵衛が作成。キリスト教禁制下の出版であった。



歴史接写

大藤啓矩 —— 聖書和訳と聖書事業のはじまり

(横浜YMCA)

聖書の和訳を考えるとき、バプテスト教会のネイサン・ブラウンや J・ゴープルの働きを忘れることができないが、ここでは「委員会訳」の百年についてふれてみたい。

翻訳委員会記録によると、「翻訳委員社中」の J・C・ヘボン、D・C・グリーン、S・R・ブラウンらは一八七四年三月から週に四回、横浜山手二百十一番のブラウン宅に集まって新約聖書の翻訳を進め、一八八〇年に出版した。

それから百年目に当たる一九八〇年に、「委員会訳新約聖書」と、その委員長であった S・R・ブラウンの召天百年を覚えて、同師の住居跡である、現横浜共立学園で記念礼拝を行い、記念ブレードを除幕した。同時に市内で JBS 主催の「聖書展」も開催された。ちなみに「委員会訳」五十年記念のタブレットは、戦火をくぐり抜けて、今も同学園に保存されている。

この聖書の翻訳と時を同じくして、米国、大英



委員会訳新約聖書50周年(1930年)を記念するタブレット。1945年の横浜大火で焼失したが、現在も保存されている。

国、北英國（スコットランド）の三聖書協会が横浜で活動を開始した。その中でも最初に日本で聖書事業を始めたのは北英國聖書協会である。

同協会中国支部のロバート・リリーが日本に派遣され、上海を出発したのが一八七五年の春であった。長崎などを訪ねた後横浜に到着した。この年が日本での聖書事業開始の年と考えられるであろう。

リリーは横浜山手居留地二九 A番（現横浜共立学園正門の向かい側付近）に居を構えて、横浜居留地一〇七番（現山下町の前田橋近く）に事務所を設置したと推測される。一八八〇年頃から、ジョン・トムソンがリリーを助け、一八八三年頃からトムソンが責任者となり活躍する。翌年夫人は三四歳の若さで夫に召され、一八九九年にトムソンもこの世での生涯を終え、共に横浜外国人墓地四区のミッションナリー区に眠っている。

「三号雑誌」という言葉をご存じでしょうか。理想に燃え創刊するも、一冊目にして企画がかなり、三冊目では、廃刊のご挨拶……。わが誌「DOWNTOWN」も毎回、苦心惨憺、取り組んでおります。年二回発行でこれでは、何をか言わんやですが、無事、第二回を跨ぎまにお届けすることができ本当に嬉しく思います。

米ソの冷戦構造が崩壊することは、絶対にありえないだろう」と皆が思っていたのに、八十九年のヘルソンの壁崩壊以後、睡く間に世界が変わつてしましました。今日の東欧、旧ソ連諸国の政治、経済、社会はまったく迷途の中になり、先の見通しが立てられない状態です。そんな中にあって聖書を必要とし、「みことば」を求めるおびただしい人たちを覚えます。今回の特集は、「東欧・旧ソ連へ聖書を」贈る特別募金活動の終わりにあたって、ご協力くださった方々へのご報告の意味も含め、ロシアや東欧に詳しい各界で、活躍中の三名の方々をお招きし座談会を行いました。（一）

JBS History / The Start of Translation of the Japanese Bible and Bible Society Work / Oto Hironori

ソア 第3弾 November 1993
発行：財団法人 日本書類研究会
1-04 東京都中央区銀座4-5-1
電話：03-5567-1080
振替：55007-1-18410
デザイン：株式会社サインコンピュータ
写真：辰巳株式会社メディア・アート
印刷：リクルート・マーケティング・ソリューションズ

編集後記